



あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお祈りします。

いよいよ学年の締めくくりの3学期が始まりました。親戚の家にいったこと、おせち料理を食べたことなど、次々に冬休みの話をする子ども達です。久々に会った友だちとすぐに遊び始め、3学期の始まりを楽しみにしていたようです。

一人一人が自分の思いを自分の言葉で伝えようとするのを大切に、受けとめ、みんなの前で発表する機会をつくっていきます。

お遊戯会に向かって友だちと関わりを深めて、一緒に表現する面白さを楽しめればと思います。これから寒さも増してくるので、うがい、手洗いをしっかり行ない、元気に過ごしましょう。

今月の目標

年少組

- ・役になりきってごっこ遊びを楽しむ。
- ・楽器を使って音を合わせる楽しさを感じる。

年中組

- ・小道具を作ったり、ごっこ遊びをしながら、なりきる楽しさを感じる。
- ・楽器の音色の違いに気付く、友だちと一緒に演奏する喜びを感じる。

年長組

- ・ストーリーの面白さや登場人物の気持ちを感じる。
- ・自分の役割をわかり、仲間と意見を交換しながらつくり上げる楽しさを味わう。

今月の活動内容

今月の約束

- ・コマ・羽子板・カルタなど、遊んだものは元の場所へ戻しましょう。

今月の歌

年少・年中組

- ♪ やぎさんゆうびん
- ♪ そうだったらいいのにな

年長組（年少・年中組と同じ歌の他に）

- ♪ 北風小僧の寒太郎

☆年少

新しい年になりました。本年もよろしくお祈り申し上げます。作品展ではお子様と一緒に来園していただき子どもたちが作った作品を、見たり遊んだり充実した時間を過ごしていただけたと思います。また、他学年の作品を見ることで、3歳、4歳、5歳の成長の家庭もご覧になれたかと思えます。空き箱などの素材のご寄付ありがとうございました。

子ども達は、作品展が終わり自分の学年だけでなく他学年の展示室にも遊びに行きました。年長のお部屋に行くと「こっちどうぞ～」と案内してくれ、優しく声をかけてくれていた年長組です。年中組に遊びにいくと、虫の電車に乗ったりトンネルから首を出したり、虫の世界観の中で存分に楽しんでいた子ども達です。今後も縦の繋がりを大切にしていきたいと思えます。

寒さの中でも身体を動かして遊ぶ子どもたちです。南台のシンボルでもある「イチヨウ」の葉を集めて、布団にしたり、頭の上からかけたりテープで束ねて飾りにしたり、様々に遊んでいます。「狼ごっこしよう」「いいね！」と、共通のイメージをもって遊ぶ姿も増えてきました。反面、「〇〇ちゃんと遊びたいのに、ダメって言われる～」と落ち込んだ様子を見せる子も。自分は遊びたいのに相手がわかってくれないもどかしさを、関わりの中で体験しているんですね！これからたくさんあることです。すぐに解決せず、どうしてそうなるのか、子どもと一緒に考えながら過ごしていきたいと思えます。いよいよお遊戯会が始まります。子どもたちが楽しんで取り組めるように、内容を考えていこうかと思えます。普段の遊びが劇ごっこへとつながり当日を迎えられればと思っています。

令和2年度は、年中組になる年ですね。1つ大きくなることの喜びを子どもと共感しながら過ごして参りたいと思えます。

☆年中

あけましておめでとうございます。いよいよ3学期、この学年として最後の季節に子ども達はどんな成長を見せてくれるのでしょうか。子ども達はお遊戯会をとっても楽しみにしています。「作品展で作った木も使いたいし、お遊戯会も森のものにしない？」「森はずっと続くんだ！」と作品展で自分たちが作り上げた気持ちや経験があるからこそその発言が多く出てきています。「年中って、踊りも踊れるの？」「私踊りも楽しそうだけど劇もいいし、迷っちゃう・・・」と話しています。どれに出たいか、楽器はなにをやるのか等子ども達と話し合っていて決めていく予定です。自分たちで作り上げる楽しみがまた始まり、どんな風に展開されていくのか楽しみです。

生活面では寒くなったからか手洗いを最小限にしようと指先だけの子も見受けられます。感染予防のためにも日頃からきちんと行えるようになるためにも、きちんとした手順とその大切さを伝えているところです。

遊びでは砂場や戦いごっこ、ごっこ遊びや廃材工作など一つの遊びだけではなく幅が広がってきています。自分の思いを言葉に出して言える様になってきた分、小さな揉め事はつきもので毎日のように起きています。しかしそれは決して悪い事ではなく、子ども達はそうしたぶつかり合いを通して相手の気持ちに触れ、自身も悩み考え経験を積むことで心が育っていく一歩を踏み出していくのだと思っています。「どうして途中で抜けちゃうの？」「だって砂場行きたかったんだもん」「じゃあそう言ってよ。ずっと探してたんだよ。〇〇ちゃん、見つからないって困ってたよ」など、ただ自分の思いをぶつけるだけでなく、そこには“自分の気持ち”や“仲間の気持ち”も含めて伝えて、自分たちなりにどうしたらよかったのかを考えようとしている姿があります。私たちも時には待ちながらたまに軌道修正にそっと入ったり、その話し合いの主導権はもう大人ではなく子ども達自身です。そうやろうとしている子ども達の成長を感じながら見守っていきたいですね。子ども達も張り切っているお遊戯会、どんな風にクラスで作り上げていくのか、是非日頃から会話を楽しみながら楽しみに待っていて下さいね。

☆年長

「あけましておめでとうございます！！」「今年もよろしくお祈りします！」子どもたちの元気な声が幼稚園いっぱいに溢れています。無事に新しい年を迎え、子どもたちの笑顔を見る事ができ、嬉しく思います。2020年は、東京オリンピックが開催される年ですね。今年ならではの一大イベントに期待を膨らませつつ、楽しく過ごしていきたいと思えます。

「お年玉もらった？」「初詣に行った人ー？」と、冬休みの間の楽しい話がつきません。年末に歌った『おしょうがつ』の歌にもあるようなお正月あそびをいくつか出すと「コマ回してみたい！先生できる？」「やったことある！これを巻くんだよね」と意欲的にコマ回しに挑戦する子や、「これ何？」「知ってる！羽根つきだよ」「あ！“おいばねついてあそびましよう”ってうたったよね！」と羽子板と羽根に興味津々の子と様々でした。どれもコツのいる遊びなので、「難しいよー」と初めは苦戦していましたが、きっとすぐに要領をつかんで出来るようになるでしょう。おうちでも経験した子も何人かいて、自信満々に根気よく取り組む姿に年長らしさを感じます。

冬らしい寒さを体で感じている子どもたちは、「見て！息が白いよ～！」「手が冷たくてジンジンする」と日々自然の不思議さを発見しています。霜柱や氷など、冬ならではの自然にも“なぜ？”“どうして？”という疑問を取り上げながら、興味を深めていきたいと思えます。

さて、いよいよ幼稚園最後の学期となりました。子どもたちは、就学への期待を膨らませています。その中で、改めて生活習慣をや集団生活について見直し、当たり前でできていてつい適当になりがちだった手洗い・うがいや、身だしなみを整えることなど、自分のことは自分で出来るように、また、集団ではそれぞれが今はどうする時なのかを考え、話し合いながら行動できるようにしていきます。

来月に行われるお遊戯会の練習も楽しんでいる子どもたちです。元気に過ごせるよう、体調管理にも気を付けていきたいと思えます。